

# 大規模地震時の行動基準



初動

揺れの間は動かない！



まず低く

DROP!



頭を守り

COVER!



動かない

HOLD ON!

大地震発生

その場が安全なら待機

港区で

5強 以上

→ 休校

次の危険があればすぐに避難を！

津波



津波避難ビル

大規模火災



広域避難場所

がけ崩れ



避難所

家屋倒壊



避難所



# むやみに移動を始めるな

- 学校は、港区で**震度 5 強**となった場合は、原則休校としますので、安全確保を優先してください。
- 鉄道の多くは、震度 5 強以上の揺れで徒歩での点検が行われるため、当面動かなくなります。
- 都心で、人的被害を伴う大規模地震に遭遇したときは、帰宅、登校を控え、むやみに移動を始めてはいけません。幹線道路では群衆雪崩のリスクが高まります。
- 救出者中の生存者の割合は発生から3日を境に急減するため、発生から**72時間**、消防・救急は人命救助に専念します。
- 登校・帰宅行動で車道に人があふれると、消防・救急の活動が妨げられます。結果、助かる命が救えなくなります。
- 大規模な被害が発生した場合、地震から72時間は現在地近くで安全な場所を探し、とどまるようにします。





## 余震・誘発地震への警戒

- 大地震は、一度の揺れでおさまらず、大きな揺れが継続したり、あとからさらに大きな地震がきたり、異なる震源の地震を誘発することがあります。

安政東海地震 安政南海地震	1854/12/23 32時間後	M8.4 M8.4
東日本震災	2011/3/11 14:46 2011/3/11 15:15	M9.0 M7.7
熊本地震	2016/4/14 21:26 2016/4/16 01:25	M6.5 M7.3

- 堅牢でない建物、大きくひび割れた建物、傾いた建物などから離れます（1981年6月以降に建築確認を受けた建物は**新耐震基準**であり倒壊リスクが低い）。



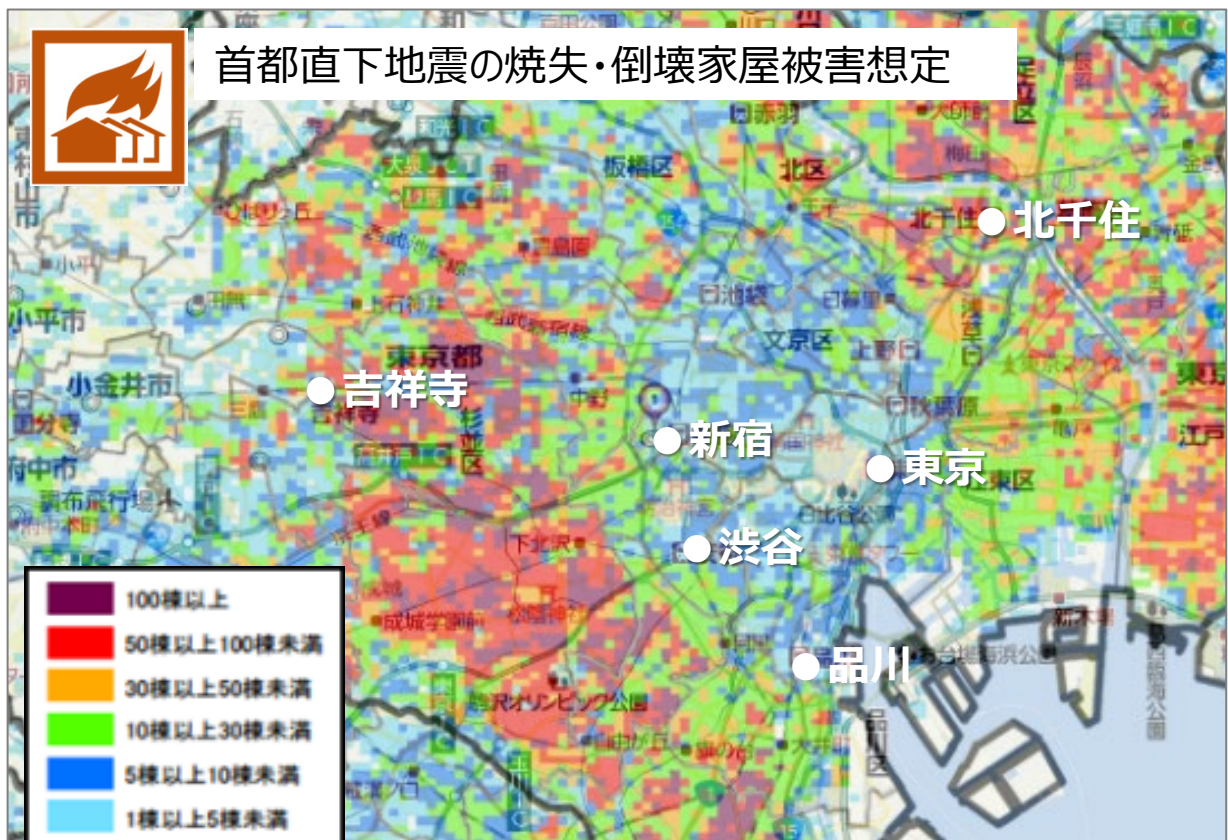
東京都耐震マーク

- 大地震後は、傾いた家屋やブロック塀、崖や裏山などに不用意に近づかないようにします。
- 高いところにあるものは下におろし、家具等の固定を再確認します。
- 大地震後、やむを得ず外に出るときは、余震に備え、頭部を保護できるものを携帯します。



# 延焼火災の脅威

- 都市圏の木造住宅密集地は、地震発生時に大規模な延焼を起こす可能性があります。市街地火災となったときは、学校などの一時集合場所は広さが十分ではない場合があるため、広い『**避難場所**』へ移動します。
- 都心は一般に不燃化が進んでいますが、その周辺の住宅街では、延焼火災が懸念されています。東京では、山手線外側～環八にかけて木造住宅密集地が広がっています。
- 都心南部を震源とした想定首都直下地震では、冬の夜間に発生した場合、犠牲者2.3万人中、1.6万人が火災によると想定（中央防災会議 2012年）。





# 津波リスク



- ▶ 強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら
- ▶ 揺れがなくても、津波警報を見聞きしたら

すぐに **避難!** →



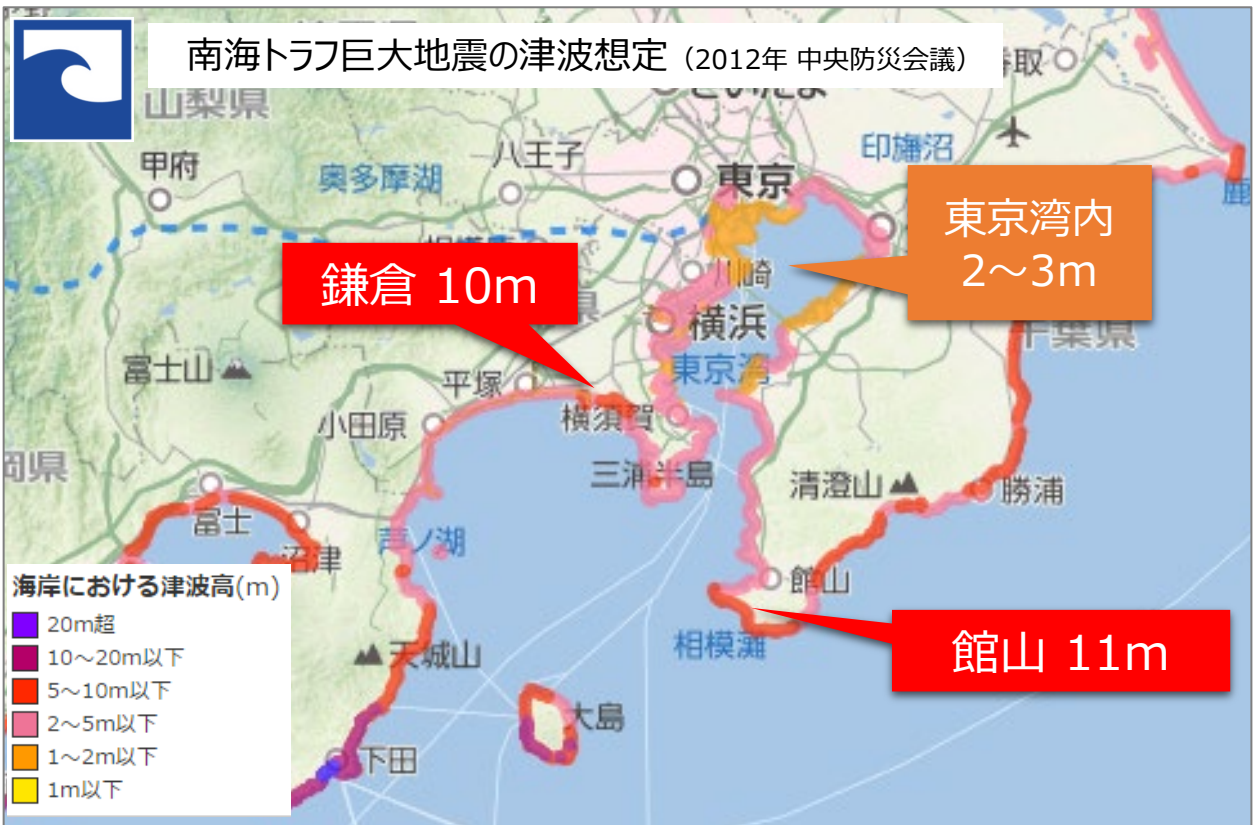
## 津波注意報

海の中にいる人は、ただちに海から離れる。注意報解除まで海に近づかない。

## 津波警報

沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど高所へ避難。津波は繰り返し襲ってくるので、警報解除まで避難先にとどまる。

## 大津波警報





# 緊急避難校ネットワーク

- 登下校中に大地震に遭遇した時は近くの私立学校に避難することができます。
- 東京・神奈川の私立小・中・高校は相互に協定を結んでおり、登下校中に大規模な地震が発生した場合、生徒は、最寄りの私立学校へ緊急避難をすれば、保護を受けられます。



緊急避難校ネットワーク



## ニッポン放送 学校安否情報

- 大地震などの災害が発生したとき、東京・神奈川の私立／国立学校等の被災状況や生徒の安否情報を、ラジオで放送することになっています。

**ニッポン放送 AM1242／FM93**

- ラジオ放送はパソコンやスマートフォンでも聴くことができます。



# 帰宅困難者支援

- コンビニ・ガソリンスタンド・ファミレス等は、**災害時帰宅支援ステーション**となり、飲料水、トイレ、情報（地図等）を提供してくれます。



災害時帰宅支援  
ステーションの  
ステッカー



[東京都防災マップ](#)

- 自治体は、民間とも連携しながら、宿泊可能な**一時滞在施設**を用意しています。都立高校などの都施設は、帰宅困難者向けの一時滞在施設となります。
- 東日本大震災では、携帯電話は輻輳により、ほとんど発信できない状態になりましたが、**公衆電話**は、災害時優先電話であるため、災害時でも発信が優先扱いとなります。また、災害時は無料で利用ができます。**23区内のセブンイレブン**や公立学校等には、災害用特設公衆電話が配備され、利用できます。



[公衆電話設置場所検索](#)





# 家族・知人との安否確認

- 被災したときは災害用伝言ダイヤルに自身の安否を登録しましょう。携帯が通じなくても、ネットができなくても、あなたの家族・知人は、公衆電話であなたの無事を確認できます。



## 災害用伝言ダイヤル

☎ <電話>

登録時

確認時

☎ 171 にダイヤル

1

2

伝言・再生する電話番号

1

1



音声メッセージ



## 災害用伝言板

<ウェブ>

登録時

確認時

<https://www.web171.jp>

登録・確認する電話番号

登録

確認



テキストメッセージ

← 読上げ

音声ダウンロード →

- 伝言ダイヤルは震度 6 弱の地震時、概ね30分で利用可に。
- 伝言は自宅固定電話でも携帯電話番号でも登録できます。
- 電話の伝言もネットの伝言板も相互に確認できます。